

令和2年度（2020年度）版 みんなと学ぶ 小学校国語 年間指導計画作成資料 【4年】

各ページとも、表形式で示している。上部に表組みの項目を置いてあるので、それによってご覧いただきたい。

■月…目安としての配当月を示した。（ ）内には、その月の合計時数を付している。

■単元・教材名、時数、指導目標

・単元・教材名…単元番号及び単元名・教材名を示した。

・時数…単元や教材のまとまりごとの時数を示した。

例：2時間（知技①書①）…知識及び技能1時間，書くこと1時間の配分を示す。

・指導目標…単元及び教材を通して育成したい資質・能力をまとめ、目標として示した。

※学習指導要領に示した指導事項についての表示方法は以下の通り。なお、重点指導事項には下線を付している。

〔知識及び技能〕

(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項

(2)…情報の扱い方に関する事項

(3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・表現力・判断力等〕

A…話すこと・聞くこと

B…書くこと

C…読むこと

■主な学習活動…単元及び教材の主たる学習活動を示した。傍らにある数字は、学習の順序を想定したものである。

■評価規準…学習活動に即した評価規準を以下の三つの観点で示した。指導事項の確実な育成を図るという観点から、文言については今後変更する可能性がある。

表示方法については以下の通り（言語活動例においても同様）。

【知識・技能】…「知識及び技能」の観点及び、学習指導要領や学習活動との対応

【思考・判断・表現】…「思考・判断・表現」の観点及び、学習指導要領や学習活動との対応

※冒頭には、例えば「読むことにおいて」など、領域名を明記している。

【主体的に学習に取り組む態度】…「学びに向かう力，人間性等」のうち、観点別評価を通じて見取ることができ的部分である「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※知識及び技能を獲得したり，思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている側面や，自らの学習を調整しようとする側面を一体的に見取ることが想定されている。

本資料は、令和元年（2019年）9月10日版です。

単元ごとの目標，主な学習活動，評価規準などは，今後変更することがあります。予めご承知おきください。

年間指導計画案(4年上巻)

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
4月 (16)	春のうた 1時間(読①) 教科書: 4上pp.①~1 ◇表現に着目しながら描かれている情景を想像したり共感したりして, 工夫して音読することができる。〈知技: (1)ア, 乙, C: (1)エ〉	1 「春のうた」を音読し, 感想やおもしろい表現について出し合う。 2 擬態語や擬声語, 繰り返しなどの表現に着目し, 描かれている様子を想像しながら, 工夫して音読する。 3 学習の振り返りをする。	● 知識・技能 ・言葉には思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・詩の大体の内容を捉え, リズムを意識して音読している。 ● 思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 詩に描かれた情景や人物の喜びの気持ちを具体的に想像している。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・場面や人物の様子を想像し, 共感しながら, 進んで音読しようとしている。
	言葉でつながる みんなで遊ぼう 2時間(話聞②) 教科書: 4上pp.14~15 ◇遊びを題材にした話し合いを通して, 互いの考えを認め合うことができる。〈知技: (1)ア, イ, A: (1)エ, 乙〉	1 学習課題と活動の進め方を確認する。 2 ペアになり, 教科書に提示されたものの中から知っている遊びについて, 遊び方を相手に伝える。 3 二人とも知らない遊びの遊び方を予想して話したり, 他のペアの友達に聞いたりする。 4 学習の振り返りをする。	● 知識・技能 ・考えたことや思ったことを表す言葉の働きに気付いている。 ・相手を見ながら共感的に話したり聞いたりしている。 ● 思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において, 知っている遊びについて, 知りたいことを質問しながら聞いている。 ・「話すこと・聞くこと」において, 互いの意見の共通点や相違点に着目し, 考えを認めながら話し合っている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・知っていることを教え合いながら, 話し合いを楽しもうとしている。
	1 イメージをふくらませて読もう 白いぼうし 7時間(読⑦) 教科書: 4上pp.16~25 ◇場面ごとの様子や人物の行動を捉え, 物語を想像しながら読むことができる。〈知技: (1)ア, ク, C: (1)イ, 乙, カ, (2)イ〉	1 全文を読み, めあてを確かめる。 2 初発の感想を交流する。 3 場面ごとの様子を表に整理し, 出来事が起こったわけを考える。 4 色や音, においなどの表現に着目して, 物語全体のイメージをつかむ。 5 読んで理解したことを生かして音読する。 6 読んだ感想を伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	● 知識・技能 ・様子や行動を表す言葉の働きに気付いている。 ・物語の表現からイメージしたことを生かして音読している。 ● 思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 表現の工夫に着目して情景を思い浮かべるとともに, 行動や会話から人物の気持ちや性格を想像し, 物語のイメージを捉えている。 ・「読むこと」において, 物語を読んで感じたことを伝え合っている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・表現に着目しながら, 進んで物語のイメージを捉えようとしている。
	みんなに伝えよう 見つけたよ, 友達の良いところ 2時間(話聞②) 教科書: 4上pp.26~27 ◇友達との関わりの中から話題を決め, 話の中心や聞き手を意識して話すとともに, 話し手が伝えたい内容の中心を捉えて聞くことができる。〈知技: (1)イ, キ, A: (1)乙, 乙, エ〉	1 モデル文を読み, 友達の良いところや関わる出来事についてスピーチするという課題をつかむ。 2 話す事柄を決め, スピーチの組み立て(話の中心, 出来事(エピソード), 自分の思いや理由)を考える。 3 抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫しながら, 友達の良いところを話す。 4 友達のスピーチについて自分と比べながら聞き, 感想を伝えたり質問したりする。 5 学習の振り返りをする。	● 知識・技能 ・聞き手を見ながら, 大事なところを強調したり, 身振りを付けたりし, 丁寧な言葉遣いで話している。 ● 思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において, 友達との関わりの中から話題を選び, 伝えたいことを明確にしている。 ・「話すこと・聞くこと」において, 抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫して話している。 ・「話すこと・聞くこと」において, 話し手の伝えたいことの中心を捉えて聞き, 感想を伝えたり質問したりしている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・聞き手に伝わりやすい話し方を工夫し, 意欲的に話そうとしている。
	言葉のいずみ1 漢字辞典の使い方 3時間(知技③) 教科書: 4上pp.28~31 ◇漢字辞典の使い方を知り, 漢字の部首や画数などについて理解することができる。〈知技: (2)イ, (3)ウ〉	1 漢字辞典を使うと, 部首, 画数, 読み方, 成り立ち, 意味などを調べることができることを知る。 2 漢字の主な部首について知る。 3 「部首索引」「音訓索引」「総画索引」を使った調べ方を知り, 漢字辞典を使って漢字を調べる練習をする。 4 教科書の問題などを使って, 漢字の読み方や部首, 画数を調べるを通して, 漢字辞典に慣れる。	● 知識・技能 ・漢字辞典の使い方を理解し, 漢字辞典を使って調べている。 ・漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解している。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・進んで漢字辞典の使い方を理解し, 漢字辞典を使い, 学習課題に沿って調べようとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	きせつのはら(春) 1時間(書①) 教科書: 4上pp.32~33 ◇春の気象や様子を表す言葉や俳句に興味をもち、春を感じた時の様子が伝わるように、詩に表すことができる。〈知技: (1)オ, B: (1)オ, (2)ウ〉	1 教科書の写真を見たり俳句を読んだりして、春の気象や様子を表す言葉を知る。 2 春を感じた経験やもの、言葉をもとに、その様子がよく分かるよう、詩を書く。	●知識・技能 ・様子を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで語句の量を増し、今までの学習を生かして、詩に表そうとしている。
5月(20)	調べよう まとめよう 「百科事典」を使って、調べることを決めよう 3時間(知技①読②) 教科書: 4上pp.34~35 ◇百科事典を使い、具体的なテーマの設定の仕方をつかむことができる。〈知技: (2)イ, (3)オ, C: (1)ウ, (2)ウ〉	1 百科事典を使った調べ方を確かめ、大きなテーマを引く。 2 調べたい具体的なテーマに絞り込む。 3 他の本やインターネットなども参考にしながら、調べたことをまとめる。 4 調べて分かったことを発表する。	●知識・技能 ・百科事典を使って調べたいことのテーマを絞り、必要な情報を得る方法をつかんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、百科事典などから必要な語や文を書き出し、短くまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・目的に応じて、必要な情報を得るために、進んで百科事典を活用しようとしている。
	2 説明のしかたを考えながら読もう アメンボはにん者か 6時間(読⑥) 教科書: 4上pp.36~45 ◇文章を要約したり、説明の仕方を確かめたりすることで、筆者の考えとそれを支える理由と事例との関係を捉えることができる。〈知技: (1)ア, カ, (2)ア, イ, C: (1)エ, ウ, カ, (2)ア〉	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 知っていることや驚いたことなどを出し合う。 3 形式段落に番号を付け、文章全体を三つに分ける。 4 意味段落ごとに要点(中心となる語や文)をまとめる。 5 文章全体を短く要約する。 6 事例の役割を確かめ、文章構造図を書く。 7 題名と筆者の考えとのつながりについて説明し合う。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係を、段落の役割や指示語の働きなどをもとにつかんでいる。 ・自分の考えを伝えるために、本文の言葉を引用している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、叙述をもとに筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係をつかみ、文章全体を要約している。 ・「読むこと」において、読んで考えたことを伝え合い、互いの考えの違いに気付いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係を考えようとしている。
	漢字の広場 1時間(知技①) 教科書: 4上p.46 ◇4年生に配当されている漢字を読み書きし、文中の使い方を理解することができる。〈知技: (1)エ〉	1 傍線の言葉に注意して、教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確かめ、書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・4年生に配当されている漢字を読み書きし、文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで4年生に配当されている漢字を読み、今までの学習を生かして、文の中で使おうとしている。
	言葉をつないで文を作ろう1 1時間(書①) 教科書: 4上p.47 ◇3年生までに配当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技: (1)エ, B: (1)エ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、主述の関係や表記の仕方、漢字などが正しく使われているかなどを確かめ合う。	●知識・技能 ・3年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して間違いを正し、文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして文を作ろうとしている。
	文章の書き方・まとめ方 新聞を知ろう、作ろう 4時間(書④) 教科書: 4上pp.48~51 ◇書きたいことが明確な記事になるように、内容の中心やまとまりを意識して書くことができる。〈知技: (1)ア, カ, B: (1)ア, イ, (2)ア〉	1 例示された新聞を見て、読む人のことを考えたつくりや記事の表し方について出し合う。 2 メモをもとに記事にする方法を確かめる。 3 見出しを書くための観点と方法を知る。 4 身近なことから伝えたいことを決め、記事と見出しを考え、はがき程度の大きさの記事にまとめる。 5 記事をグループでまとめ、一つの新聞に仕上げると。 6 新聞を読み合い、記事の読みやすさや見出しの付け方など、感想をグループ同士で伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・考えたことを表す言葉の働きに気付いている。 ・主述の関係や段落の役割を理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、身近なことから新聞に書くことを選び、集めた材料を整理している。 ・「書くこと」において、記事に書く内容を明らかにし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりするなど、記事の構成や見出しを考えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・分かりやすい記事になるように、内容のまとまりや構成を進んで考え、新聞にまとめようとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
6月 (22)	<p>言葉を聞き取ろう メモを取りながら聞こう 2時間(話聞②) 教科書: 4上pp.52~53</p> <p>◇必要なことを聞き取り, 工夫して書き留めることができる。〈知技: (2)イ, A: (1)エ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 提示された文章をもとに, メモを取る。 2 自分のメモと提示されたメモ例とを比べ, メモの取り方の工夫について理解する。 3 先生の話聞きながらもう一度メモを取る。 4 友達のメモと見比べ, 上手なメモの取り方を話し合う。 5 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な語句の書き留め方を理解している。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において, 必要な事柄を判断しながら聞き, 記録している。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報の聞き取り方を, 進んで理解しようとしている。
	<p>3 ほうこくしたいことを新聞にまとめて書こう 見学したことを新聞にまとめよう 10時間(書⑩) 教科書: 4上pp.54~61</p> <p>◇見学したことをもとに情報を整理するとともに, 見出しや割り付けを考え, 読み手に分かりやすくなるよう, 工夫して新聞を作ることができる。〈知技: (1)ア, キ, (2)イ, B: (1)エ, ㄱ, エ, オ, (2)ア〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習のめあてを確かめ, 新聞作りの手順や読み手に伝わりやすい記事を書くという課題をつかむ。 2 取材の計画を立て「取材カード」にまとめる。 3 取材の方法を考え, 実際にインタビューなどの取材を行うための練習をする。 4 書いた「取材カード」を分類し, 記事カードに整理する。 5 新聞の作り方を知り, 記事の配置や分量, 写真や表の大きさや位置を考え, 割り付けをする。 6 読み手への伝わりやすさを考えながら, 記事の下書きをし, それぞれの見出しを考える。 7 記事を読み直し, 割り付けをもとに清書するとともに, 写真や資料などを貼り, 記事を完成させる。 8 新聞を読み合い, 記事の分かりやすさや見出し, 割り付けの工夫などについて良いところを伝え合う。 9 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には分かったことや考えたことを表す働きがあることに気付くとともに, 敬体と常体の違いに注意しながら適切な文末表現で書いている。 ・取材に適した語句の書き留め方を理解するとともに, 取材カードをもとに記事にするための, 情報の整理の仕方を理解している。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 取材したことをもとに記事にする内容を選んで整理し, 記事カードにまとめている。 ・「書くこと」において, 新聞の形式に沿って全体の構成や割り付けを考え, 書く内容の中心が明確になるよう記事を書いている。 ・「書くこと」において, 読み手にとって分かりやすい記事になるよう見出しや記事を見直し, 工夫した点や読みやすさなどについて, 感想を伝え合っている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手を意識して, 進んで新聞の書き方を工夫しようとしている。
	<p>言葉をおくろう お礼状を書こう 5時間(書⑤) 教科書: 4上pp.62~63</p> <p>◇手紙の形式を捉え, 目的を意識して気持ちが伝わるように, お礼状を書くことができる。〈知技: (1)主, B: (1)ㄱ, ㄴ, (2)イ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 お礼状の基本的な形式を押さえ, お礼の手紙を書くという学習課題と進め方を確かめる。 2 お礼状を書く際に注意したいことを押さえる。 3 p.63の文例を読み, 「はじめ:挨拶, 中:本文, 終わり:結びの挨拶, 後付け」の構成になっていることを知る。 4 お礼状を送る相手に伝えたいことを, ノートに書き出す。 5 ノートに書いたことをもとに, お礼状を書く。 6 書いた手紙を読み返し, 間違いや分かりにくいところを正す。 7 宛て名に気を付けてお礼状を出し, 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬体と常体の違いに注意し, 敬体で手紙を書いている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 手紙の形式を理解し, 書く目的を明確にして, 内容や構成を考えている。 ・「書くこと」において, 文字や言葉遣いの誤り, 表現などを確かめ, 文や文章を整えている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式を確かめながら, 気持ちが伝わるようなお礼状を, 進んで書こうとしている。
	<p>季節のたより(夏) 1時間(書①) 教科書: 4上pp.64~65</p> <p>◇夏の気象や様子を表す言葉や俳句に興味をもち, 夏を感じた時の様子が伝わるように, 詩に表すことができる。〈知技: (1)オ, B: (1)ㄱ, (2)ウ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書の写真を見たり俳句を読んだりして, 夏の気象や様子を表す言葉を知る。 2 夏を感じた経験やもの, 言葉をもとに, その様子がよく分かるよう, 詩を書く。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様子を表す語句の量を増し, 文章の中で使っている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 書こうとしたことが明確になっているかなど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分の文章の良いところを見つけている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで語句の量を増し, 今までの学習を生かして, 詩に表そうとしている。
<p>4 表にしてくらべながら読もう 手で食べる, はして食べる 6時間(読⑥) 教科書: 4上pp.66~73</p> <p>◇意味段落ごとの要点をつかみ, 事例を比べて確かめることで, 筆者の考えをつかみ, 互いの感想を伝え合うことができる。〈知技: (1)カ, (2)イ, C: (1)エ, オ, カ, (2)ア〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を読み, めあてを確かめる。 2 身の回りの食器や食べる方法など, 思いついたことを出し合う。 3 文章全体を意味段落のまとまりで分け, それぞれの要点をまとめる。 4 事例を比べて考え, 分かったことを説明し合う。 5 事例を表にまとめ, 違いを確かめる。 6 筆者の考えを, それを支える事例をもとに確かめる。 7 読んで理解したことをもとに, 自分の考えを本文の叙述を引用しながら伝え合う。 8 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例を比べながら, 段落同士の関係を, 接続語をもとにつかんでいる。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において, 筆者の考えと事例との関係を押さえ, 読んで理解したことを, 自分の生活体験と結び付けて考えている。 ・「読むこと」において, 自分の考えを伝え合い, 互いの感じ方の違いに気付いている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで筆者の考えをつかんだり, 事例を比べながら確かめたりしようとしている。 	

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
7月 (17)	<p>調べたことを書こう 文化のちがいを調べよう 8時間(書⑧) 教科書: 4上pp.74~77</p> <p>◇調べた材料をもとに, 内容のまとまりで段落を作り, 比べて分かったことや自分の考えとの関係に注意しながら, 構成を考えて文章を書くことができる。(知技:(1)ア, カ, (2)オ, B:(1)ア, イ, ウ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習課題と進め方を確かめる。 2 世界各国の衣食住などの文化をテーマに, 調べたいことを出し合い, 調べることを決める。 3 調べて分かったことをメモに書き出し, 表にまとめる。 4 表をもとに各国の文化の違いを比べ, 分かったことや自分の考えをまとめる。 5 内容のまとまりや文章構成を考えながら, 文章を書く。 6 友達と読み合い, 内容や構成の良かったところなど, 感想を伝え合う。 7 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表す言葉の働きに気付いている。 ・段落の役割や, 主語と述語との関係を理解している。 ・国ごとの文化の違いを比べながら, 必要な情報を書き留めている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 集めた材料を比べて共通点や相違点を見出し, 整理している。 ・「書くこと」において, 内容のまとまりで段落を作ったり, 段落同士の関係に注意したりしながら文章構成を考え, 文章にまとめている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例を比べて違いなどを見出し, まとまりを考えながら, 進んで文章を書いている。
	<p>「根拠」と「理由」を区べつよう 自分の意見を組み立てて説明しよう 3時間(知技①話聞①読①) 教科書: 4上pp.78~83</p> <p>◇考えと理由・根拠の関係を明らかにして自分の意見を組み立て, 説明し合うことができる。(知技:(2)エ, A:(1)オ, C:(1)オ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 pp.78~79の課題について考えを出し合い, 「根拠・理由・意見」の関係をつかむ。 2 既習の物語をもとに, 「本文=根拠, 解釈=理由, 問いに対する答え=意見」の関係を意識して, 友達と話し合う。 3 p.82に提示された絵をもとに, 「絵の全体或部分=根拠, 見えるものや考えたこと=理由, 選んだ題名=意見」の関係を意識して, 友達と話し合う。 4 「根拠・理由・意見」に分けて考える良さについて話し合い, 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを支える理由や事例について, 「意見・根拠・理由」の関係で整理し, 情報と情報との関係について理解している。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において, 根拠としての着眼点の同異や, 自分の意見や経験に基づく理由付けの仕方などに着目して話し合い, 説得力のある述べ方について, 考えをまとめている。 ・「読むこと」において, 文章や絵を読む課題に対して理解したことを, 自分の体験や知識と結び付けて考えをもっている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えとそれを支える理由や事例との関係について意識し, 進んで情報と情報との関係を理解しようとしている。
	<p>言葉を受け止めよう 言葉のいろいろな表情 2時間(話聞②) 教科書: 4上pp.84~85</p> <p>◇相手とより良い関係を築くための話し方や態度を考えることができる。(知技:(1)ア, イ, A:(1)オ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書に例示された文を読み, それぞれどんな気持ちが伝わるかを考える。 2 提示された短い会話文について, 伝わり方を出し合う。 3 言い方によって, 受け手の印象が違うことについて確かめ, どのような態度や言い方にすれば相手の気持ちに立てるかを話し合う。 4 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを伝える言葉の働きに気付いている。 ・声の調子や話す態度に注意して話している。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において, 相手とより良い関係を築くための言い方や態度について, 友達の意見との共通点や相違点をふまえて, 自分の考えをまとめている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手とより良い関係を築くための話し方や態度を, 進んで考えようとしている。
	<p>言葉をつないで文を作ろう2 1時間(書①) 教科書: 4上p.86</p> <p>◇3年生までに配当されている漢字を使った文を書き, 読み返して文を整えることができる。(知技:(1)エ, B:(1)エ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書の絵を見て様子を想像し, 説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い, 課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い, 主述の関係や表記の仕方, 漢字などが正しく使われているかなどを確かめ合う。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生までに学んだ漢字を正しく使って, 文を作っている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 作った文を読み返して間違いを直し, 文を整えている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで提示された漢字を使い, 今までの学習を生かして, 文を作ろうとしている。
	<p>読書に親しもう 物語のみ力をしようかいしょう ポレポレ 読書の部屋 6時間(知技③読③) 教科書: 4上pp.87~105</p> <p>◇物語を楽しんで読み, 作品や登場人物の魅力について交流することで, 読書の幅を広げることができる。(知技:(1)ア, (2)イ, (3)オ, C:(1)イ, カ, (2)イ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動の見通しをもち, 全文を読む。 2 登場人物に着目し, グループで話し合う。 3 物語の魅力の伝え方を考える。 4 物語の魅力をクラス全体で発表する。 5 学習の振り返りをし, 読書に広げる。 6 関心のある本を選んで読み, 読書記録にまとめる。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の魅力を言葉を通して伝え合うことで, 読書に親しんでいる。 ・引用するための方法を理解し, 読書の記録にまとめている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において, 叙述をもとに, 登場人物の性格や物語のあらましをつかんでいる。 ・「読むこと」において, 作品の魅力を伝え合い, 互いの考えの違いに気付いている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広く読書に親しみ, 読書の楽しさや良さを知ることによって, これからの読書生活につなげようとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
9月 (16)	詩を味わおう かぼちゃのつるがふしぎ 2時間(読②) 教科書: 4上pp.106~107 ◇情景から人物の気持ちを想像し、感じ取ったことをもとに工夫して音読するとともに、思ったことを伝え合い、感じ方の違いに気付くことができる。〈知技:(1)ア, ク, C:(1)エ, カ〉	1 「かぼちゃのつるが」の情景を想像して、表現の工夫について出し合い、読み取ったことを生かして音読する。 2 「ふしぎ」の内容のおもしろさや作者の思いについて出し合い、読み取ったことを生かして音読する。 3 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・擬人法や繰り返し、律などの表現による思考や感情を表す効果に気付いている。 ・想像したことをもとに、表現を工夫して音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、詩を読み、言葉の響きやリズムなどから様子を想像し、思ったことを交流することで、互いの感じ方の違いに気付いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・表現方法の工夫や感じ方の違いに気付き、進んで詩を読もうとしている。
	みんなに伝えよう こんなに成長したよ 2時間(話聞②) 教科書: 4上pp.110~111 ◇自身を振り返って話題を決め、きっかけとなる出来事や思いなどをもとに構成を考え、聞き手に伝わるよう、抑揚や強弱などを工夫して話すことができる。〈知技:(1)イ, キ, A:(1)エ, イ, ウ〉	1 モデル文を読み、自分が成長したと思うことについてスピーチするという課題をつかむ。 2 話す事柄を決め、スピーチの組み立て(話題の中心, きっかけとなる出来事や思い)を考える。 3 抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫して、自分の成長について話す。 4 友達のスピーチについて、自分と比べながら感想を伝え合う。 5 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・聞き手を見ながら、大事なところを強調したり間の取り方に注意したりし、適切な言葉遣いで話している。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の成長について振り返って考え、事例や自分の思いをもとに話の構成を考え、抑揚や強弱, 間の取り方など、話し方を工夫して話している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・聞き手を意識して話の構成や話し方を工夫し、意欲的に話そうとしている。
	言葉のきまり1 接続語 2時間(知技②) 教科書: 4上pp.112~113 ◇文と文との意味のつながりや関係性を考えながら、接続語を使うことができる。〈知技:(1)カ〉	1 例文をもとに、接続語の順接と逆接の働きと使い方を確かめる。 2 その他の接続語について、働きを整理する。 3 接続助詞を使い、二文を一文にすることができることを確かめる。 4 教科書の課題に取り組み、接続語の役割について理解を深める。	●知識・技能 ・接続語の役割について理解し、文相互の関係をつかんでいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで接続語の役割を理解し、今までの学習を生かして、適切に使おうとしている。
	言葉のいずみ2 漢字のいろいろな読み方・送り方が 2時間(知技②) 教科書: 4上pp.114~115 ◇複数の音読みをもつ漢字の読み方や、特別な読み方をする漢字、送り仮名の付け方について理解することができる。〈知技:(1)ウ〉	1 例文を読み、複数の音読みのある漢字やその由来を知る。 2 教科書を読み、二字以上の漢字からなる熟語に、特別な読み方をするものがあることを確かめる。 3 訓読みは、使い方によって送り仮名の形が変わることを確かめる。 4 教科書の課題に取り組み、送り仮名の付け方を捉える。	●知識・技能 ・漢字と仮名を用いた表記や、送り仮名の付け方を理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで漢字の読み方や送り仮名の付け方を理解し、今までの学習を生かして、言葉を正しく使おうとしている。
	文章の書き方・まとめ方 文章のまとめと分かりやすさ 2時間(書②) 教科書: 4上pp.116~117 ◇分かりやすい文章になるように、内容のまとめや一文の長さを考えながら、文章を整えることができる。〈知技:(1)ウ, カ, B:(1)エ, エ〉	1 例示された文を読み、気付いたことや、分かりやすい文章にするにはどうしたら良いかなどを出し合う。 2 例示された文を書き直す。 3 書き直したものを読み合い、他にも工夫できるところがあるかどうか、直す前と比べてどのような良さがあるか、などを話し合う。 4 これまで書いた行事作文や感想文などから書き直したいものを選び、一文の長さやまとめを意識して文章を整える。 5 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・改行の仕方や句点の適切な打ち方、段落の役割について理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、分かりやすい文章になるように、内容のまとめで段落を分けたり、一文を適切な長さに整えたりしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・文章を読み返し、分かりやすい文章になるように、進んで文章を整えようとしている。
	言葉のひびきやリズムを楽しもう 短歌 4時間(知技④) 教科書: 4上pp.118~123 ◇短歌に親しみ、言葉の響きやリズムを感じ取りながら、音読することができる。〈知技:(3)エ〉	1 短歌が三十一音で作られていることなどの特徴を知る。 2 それぞれの短歌を音読し、言葉の響きやリズムを楽しむ。 3 pp.120~121の①から④の手順に従い、選んだ歌と似ている点を見つけ、発表し合う。 4 百人一首の中から気に入った歌を選び、音読したり、感想を伝え合ったりする。	●知識・技能 ・短歌の特徴をつかみ、言葉の響きやリズムを感じ取りながら音読している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・易しい文語調の短歌に親しみ、言葉の響きやリズムを楽しみながら、進んで音読しようとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
10月 (5)	<p>5 問題解決のために話し合おう 安全マップを作って話し合おう 6時間(話聞⑥) 教科書:4上pp.124~129</p> <p>◇「安全マップ」を作るために、集めた材料を比較・分類し、互いの意見の共通点や相違点に着目しながら、安全な登下校をするための方法についての考えをまとめることができる。〈知技:(1)キ, A:(1)ア, 才, (2)イ, ウ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習のめあてを確かめ, 見通しをもつ。 2 グループごとに通学路を調べ, 危険な場所を出し合いながら, 地図に書き込む。 3 地図をもとに, 安全な登下校について, グループで話し合う。 4 安全な登下校の方法を考え, 地図に書き込み, 地図を完成させる。 5 安全マップをもとに, グループごとに発表する。 6 発表をもとに話し合いの柱を決め, クラスで話し合う。 7 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な言葉遣いを意識して話している。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において, 「安全マップ」を作るために通学路を点検し, 分かったことを比較したり分類したりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において, 話し合いの目的を意識して話し合い, 互いの意見の共通点や相違点に着目しながら, 考えをまとめている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な登下校のための方法を進んで考え, 問題解決のために話し合っている。
	<p>言葉をつないで文を作ろう3 1時間(書①) 教科書:4上p.130</p> <p>◇3年生までに配当されている漢字を使った文を書き, 読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)エ, B:(1)エ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書の絵を見て様子を想像し, 説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い, 課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い, 主述の関係や表記の仕方, 漢字などが正しく使われているかなどを確かめ合う。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生までに学んだ漢字を正しく使って, 文を作っている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 作った文を読み返して間違いを直し, 文を整えている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで提示された漢字を使い, 今までの学習を生かして, 文を作ろうとしている。

年間指導計画案(4年下巻)

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
10月 (15)	水平線 1時間(読①) 教科書: 4下pp.①~1 ◇表現に着目しながら, 描かれている様子を想像したり, 作者の思いを感じ取ったりし, 工夫して音読することができる。〈知技: (1)ア, ㇿ, C: (1)エ〉	1 「水平線」を音読し, 感想やおもしろい表現について出し合う。 2 文末表現や繰り返しなどに着目したり, 描かれている様子(「横→縦→奥」の視点)を捉えたりして, 工夫して音読する。 3 学習の振り返りをする。	● 知識・技能 ・思いを表す言葉の働きに気付いている。 ・詩の内容の大体を捉えて, 音読している。 ● 思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 詩に描かれた様子や作者の思いなどを, 具体的に想像している。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・情景を想像したり, 作者の思いを感じ取ったりしながら, 進んで音読しようとしている。
	言葉から想像しよう 組み合わせた言葉のイメージを楽しもう 3時間(知技①話聞②) 教科書: 4下pp.6~8 ◇言葉から発想を広げ, 語彙を豊かにすることができる。〈知技: (1)ア, ㇿ, A: (1)ア, イ〉	1 p.6を参考にしてp.7の課題に取り組み, 組み合わせた言葉からイメージしたことを, メモに書き留める。 2 書いたメモをもとに, 言葉からイメージしたことを説明し合う。 3 学習の振り返りをする。	● 知識・技能 ・イメージしたことを表す言葉の働きに気付いている。 ・言葉の意味やイメージなど様々な側面から見つめ, 語彙を豊かにしている。 ● 思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において, 活動の目的を考えながら, 互いの発想のおもしろさや意味の広がりなどに着目し, 言葉への見方や考え方について話し合っている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・組み合わせた言葉からイメージしたことを, 進んで説明し合おうとしている。
	1 二つの文章をくらべて読もう 空飛ぶふろしき ムササビ ムササビがくらす森 8時間(読⑧) 教科書: 4下pp.9~17 ◇二つの文章を読み比べながら, 目的に合わせて要約し, 自分の考えを伝え合うことができる。〈知技: (1)カ, ク, (2)ア, イ, C: (1)ア, ㇿ, オ, (2)ア〉	1 題名から, 二つの文章の内容を考える。 2 全文を読んで, 初発の感想を述べ合い, めあてを確かめる。 3 二つの文章の要点を, 意味段落ごとにまとめる。 4 観点をもとに, 二つの文章の説明の仕方を比べる。 5 目的に合わせて文章を要約し, 友達と読み合う。 6 自分の考えをもとにした要約文の内容を家の人に伝え, 伝わり方を確かめる。 7 学習の振り返りをする。	● 知識・技能 ・説明の仕方を, 接続語の働きに着目して捉えている。 ・文章全体を比べ, 要約したり音読したりすることでそれぞれの違いをつかんでいる。 ● 思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 筆者の考えとそれを支える理由や事例について, 二つの文章を比べることで捉えている。 ・「読むこと」において, 目的を意識して文章を要約し, 自分の考えをまとめている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・目的に合わせて要約の仕方や, 読み比べるための観点について, 進んで考えようとしている。
	季節のたより(秋) 1時間(書①) 教科書: 4下pp.18~19 ◇秋の気象や様子を表す言葉や俳句に興味をもち, 秋を感じた時の様子が伝わるように, 詩に表すことができる。〈知技: (1)オ, B: (1)ㇿ, (2)ウ〉	1 教科書の写真を見たり俳句を読んだりして, 秋の気象や様子を表す言葉を知る。 2 秋を感じた経験やもの, 言葉をもとに, その様子がよく分かるよう, 詩を書く。	● 知識・技能 ・様子を表す語句の量を増し, 文章の中で使っている。 ● 思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 書こうとしたことが明確になっているかなど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分の文章の良いところを見つけている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・進んで語句の量を増し, 今までの学習を生かして, 詩に表そうとしている。
	昔から言い伝えられてきた言葉にふれよう ことわざ・故事成語 2時間(知技②) 教科書: 4下pp.20~23 ◇ことわざや故事成語について知り, 意味を理解して使うことができる。〈知技: (2)イ, (3)ㇿ〉	1 二つの言葉の意味を辞典で調べ, ことわざについて知る。 2 ことわざを辞典などで調べ, カードにまとめる。 3 故事成語の解説を読み, 成り立ちと意味を辞典で調べる。 4 ことわざや故事成語が普段の生活の中で使われることを知り, 学習を振り返る。	● 知識・技能 ・ことわざや故事成語の意味を調べるために, 辞典を使っている。 ・ことわざや故事成語について知り, 意味や使い方を理解している。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・進んでことわざや故事成語について調べ, 普段の生活の中で使おうとしている。
11月 (20)	対話して読む: 筆者の視点を追って読もう 「落ち葉」ではなく「落ちえだ」 2時間(読②) 教科書: 4下pp.24~27 ◇筆者の考えの進め方を捉え, 問いをもちながら読むことができる。〈知技: (1)ア, カ, C: (1)ㇿ〉	1 本文を読み, 「読む手がかり」を確かめる。 2 「つぶやき」を参考にし, 筆者の考えの進め方を追いながら読む。 3 分かったことなどを, 友達と伝え合う。 4 学習の振り返りをする。	● 知識・技能 ・接続語や指示語の働きに気付き, 段落相互の関係から筆者の考えの進め方を確かめている。 ● 思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 筆者がたどり着いた結論にいたるまでの考えの進め方を, 事象と考察との関係から捉えている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・筆者のものの見方や考え方に触れ, 進んで問いをもって読もうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	<p>2 効果的に伝わるように書こう クラブのしょうかいチラシを作ろう 身の回りのメディアを研究しよう 8時間(話聞②書⑥) 教科書: 4下pp.28~31</p> <p>◇紹介したいことが効果的に伝わるような, キャッチコピーやボディコピーの表現の仕方を考え, チラシを書くことができる。〈クラブのしょうかいチラシを作ろう〉知技:(1)ア, キ, B:(1)ウ, エ, (2)ア 身の回りのメディアを研究しよう 知技:(1)ア, A:(1)ア, (2)ウ)</p>	<p>1 学習課題やめあてを確かめ, 学習の見通しをもつ。 2 自分のクラブ活動について思い出し, 活動の内容や楽しさなど, クラブを紹介することを書き出す。 3 紹介したいことをもとに, キャッチコピーとボディコピーを作る。 4 写真やイラストを入れ, 配置を考えてチラシを仕上げる。 5 作ったチラシが読み手の興味をひくものかどうかを考えながら, 推敲する。 6 チラシをもとに, クラブの良さを三年生に紹介する。 7 身の回りからお菓子の包装紙や箱を集め, それらの特徴を調査する。 8 調査して気付いたことを発表し合う。 9 学習の振り返りをする。</p>	<p>●知識・技能 ・考えたことを短い言葉などで印象付けられることに気付いている。 ・読み手を意識して, 敬体と常体を使い分け, 適切な言葉遣いで書いている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, キャッチコピーとボディコピーの関係を, 考えと理由・事例との関係で捉え, 伝えたいことが明らかになるように, 表現を工夫して書いている。 ・「書くこと」において, 読み手を意識した表現になっているかを確認, 文章を整えている。 ・「話すこと・聞くこと」において, 身の回りから材料を集め, 比較・分類しながら, 伝え合うための事柄を整理している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・クラブ活動の良さや楽しさが伝わるように, 進んで表現を工夫しながら紹介チラシを書こうとしている。 ・身の回りのメディアについて, 進んでその特徴や受け手に与える効果を考えようとしている。</p>
	<p>言葉のいずみ1 熟語の組み合わせと読み方 3時間(知技③) 教科書: 4下pp.34~37</p> <p>◇熟語の構成について知り, 組み合わせ方や意味について理解することができる。〈知技:(1)エ〉</p>	<p>1 熟語の定義を知り, 漢字の意味を考えながら熟語の構成について理解する。 2 同じ読み方の熟語の適切な使い分けを理解する。 3 国語辞典や漢字辞典を使って熟語を集め, 組み合わせ方や意味を捉える。</p>	<p>●知識・技能 ・4年生に配当されている漢字を, 読んだり文の中で使ったりしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで4年生の配当漢字や熟語の構成について興味をもち, 意味を考えながら, 適切に使おうとしている。</p>
	<p>ゆたかに表現しよう 心に残っていること 7時間(書⑦) 教科書: 4下pp.38~39</p> <p>◇心に残ったことや感じたことを, 表現を工夫して詩に表し, 感想を伝え合うことができる。〈知技:(1)ア, キ, B:(1)ウ, エ, オ, (2)ウ〉</p>	<p>1 モデルの詩と普通の文章を比べ, 気付いたことを出し合う。 2 これまでに書いた作文や日記を読み返し, 詩で表したいものを選ぶ。 3 普通の文章とは違った, 凝縮した表現になるよう工夫して詩を書く。 4 書いた詩を友達と読み合い, 良いところや感想などを伝え合う。 5 学習の振り返りをする。</p>	<p>●知識・技能 ・心に残ったことや感じたことを, 言葉で表せることに気付いている。 ・敬体と常体の違いを意識して, 読み手への伝わり方やリズムを確かめながら書いている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 文末表現などの使い分けを意識しながら, 工夫して書いている。 ・「書くこと」において, 書いた詩を読み合い, 感想や意見を伝え合うことで, 自分の書いた詩の良さを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・表現の工夫について感想を進んで伝え合い, 自分の文章の良さを見つけてようとしている。</p>
12月 (15)	<p>漢字の広場1 1時間(知技①) 教科書: 4下p.40</p> <p>◇4年生に配当されている漢字を読み書きし, 文中の使い方を理解することができる。〈知技:(1)エ〉</p>	<p>1 傍線の言葉に注意して, 教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確かめ, 書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。</p>	<p>●知識・技能 ・4年生に配当されている漢字を読み書きし, 文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで4年生に配当されている漢字を読み, 今までの学習を生かして, 文の中で使おうとしている。</p>
	<p>言葉をつないで文を作ろう1 1時間(書①) 教科書: 4下p.41</p> <p>◇3年生までに配当されている漢字を使った文を書き, 読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)エ, B:(1)エ〉</p>	<p>1 教科書の絵を見て様子を想像し, 説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い, 課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い, 主述の関係や表記の仕方, 漢字などが正しく使われているかなどを確かめ合う。</p>	<p>●知識・技能 ・3年生までに学んだ漢字を正しく使って, 文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 作った文を読み返して間違いを直し, 文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・提示された漢字を使い, 今までの学習を生かして, 文を作ろうとしている。</p>

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	<p>3 人物の関係と気持ちの変化を読もう ごんぎつね 10時間(読⑩) 教科書: 4下pp.42~61</p> <p>◇人物同士の関係から、人物の心情と変化をつかむことができる。〈知技:(1)ア, C:(1)イ, Ⅱ, オ, カ, (2)イ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 全体を読み、めあてを確かめる。 初発の感想を交流する。 場面ごとに題を付け、全体を捉える。 人物の性格や気持ちと、その変化を捉える。 視点の変化とその効果を捉える。 最後の場面の、人物同士の思いを捉える。 終わり方の表現の効果を考え、作品全体のメッセージを共有する。 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 描写をもとに、言葉に込められた思いや感情、余韻を表す効果に気付いている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、叙述をもとに人物の行動や気持ちを捉えている。 「読むこと」において、人物同士の関係を場面の移り変わり結び付けて想像している。 「読むこと」において、読んで分かったことをもとに考えをもち、それらを伝え合うことで、互いの考えの違いに気付いている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物同士の関係や気持ちの変化、描写による効果について、進んで捉えようとしている。
	<p>日本各地の短歌 2時間(知技②) 教科書: 4下pp.62~63</p> <p>◇日本各地の短歌や地域とつながりのある短歌を知り、音読を通して、文語の調子に親しむことができる。〈知技:(1)Ⅱ, (3)ア〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 提示された短歌を、言葉の響きやリズムを感じ取りながら音読する。 地域にゆかりのある歌人や、地域の景色を詠んだ歌を調べ、音読したり地域の文化を理解したりする。 都道府県で使われる漢字を読み書きし、興味をもった都道府県とつながりのある短歌について調べたことをノートにまとめる。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該学年の配当漢字を読み書きし、それぞれの地域にまつわる短歌について調べている。 文語調の短歌を音読し、言葉の響きやリズムに親しむとともに、地域とつながりのある短歌をきっかけに、地域の文化について理解を深めている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本各地の短歌や、地域とつながりのある短歌に興味をもち、進んで調べようとしている。
	<p>読書を広げよう 生活の中に生きている読書 読書の部屋 1時間(知技①) 教科書: 4下pp.64~67</p> <p>◇読書が生活に役立つことを知り、読書の幅を広げることができる。〈知技:(3)オ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 教科書本文を読み、読書が自分の興味を広げるのに役立つことに気付く。 これまで書店や図書館で本を選ぶ際に気付いたことなどを出し合う。 今後どのような本を読みたいか、友達と交流する。 読書の部屋を見て、読書の幅を広げることに関心をもつ。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書をするごとの意味や良さに気付く、自分の興味を広げている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで読書生活について考え、読書に親しもうとしている。
1月 (19)	<p>季節のたより(冬) 1時間(書①) 教科書: 4下pp.68~69</p> <p>◇冬の気象や様子を表す言葉や俳句に興味をもち、冬を感じた時の様子が伝わるように、詩に表すことができる。〈知技:(1)オ, B:(1)オ, (2)ウ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 教科書の写真を見たり俳句を読んだりして、冬の気象や様子を表す言葉を知る。 冬を感じた経験やもの、言葉をもとに、その様子がよく分かるよう、詩を書く。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 様子を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで語句の量を増し、今までの学習を生かして、詩に表そうとしている。
	<p>4 資料を作って発表しよう ドリームツリーを作ろう 10時間(話聞⑩) 教科書: 4下pp.70~77</p> <p>◇作ったドリームツリーをもとに、聞き手に分かりやすくなるように話の構成を考え、工夫して話すことができる。〈知技:(1)イ, キ, A:(1)ア, Ⅱ, ウ, エ, (2)ア〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 学習課題とめあてを確かめ、見通しをもつ。 自分の夢について考え、例を参考にして、ドリームツリーの根や土、幹、枝葉のそれぞれをまとめる。 作ったドリームツリーをもとに、話の組み立てを考え、発表の練習をする。 発表会を開き、ドリームツリーを使って発表する。 発表の内容や指し示し方、話し方について、感想を伝え合う。 分かりやすく話すことができたかなど、学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞き手を意識して話し方を工夫するとともに、丁寧な言葉遣いで話している。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、自分の夢をかかなえるための材料をまとめ、整理している。 「話すこと・聞くこと」において、理由や事例を挙げながら、筋道だった説明になるよう、話の構成を考えている。 「話すこと・聞くこと」において、聞き手が分かりやすくなるよう、声の調子や強さ、資料の指し示し方などに注意して話している。 「話すこと・聞くこと」において、自分と比べながら聞き、質問したり感想を伝えたりしている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 作ったドリームツリーをもとに、進んで話をしたり、聞いたりしようとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	<p>5 自分の考えを深めるために読もう さわっておどろく 5時間(読⑤) 教科書: 4下pp.78~86</p> <p>◇筆者の体験とそこから得た意見を関係付けながら読み, 共有し合うことで, 自分の考えを深めることができる。〈知技:(1)ア, (2)ア, C:(1)ア, ㊦, ㊧〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を読み, めあてを確かめる。 2 視覚障害やユニバーサルデザインについて, 知っていることなどを出し合う。 3 筆者の体験と思い・考えについて表にまとめ, 全体を捉える。 4 筆者がたどり着いた考えを確かめ, 題名の意味を問い直す。 5 自分の経験と, 読んで理解したことを結び付け, 自分の考えを深める。 6 叙述をもとに, 筆者の視点のおもしろさや, 説得力のたせ方などについて考える。 7 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えを表す言葉の働きと, 考えを支える体験(事実)との関係に気付いている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において, 叙述をもとに, 筆者の考えとそれを支える体験との関係を捉えている。 ・「読むこと」において, 読んで分かったことについて, 自分の経験と結び付けて考え, 共有することで, 自分の考えを深めている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意見に対する自分の考えをもち, 深めようとしている。
	<p>言葉をつないで文を作ろう2 1時間(書①) 教科書: 4下p.87</p> <p>◇3年生までに配当されている漢字を使った文を書き, 読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)㊦, B:(1)エ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書の絵を見て様子を想像し, 説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い, 課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い, 主述の関係や表記の仕方, 漢字などが正しく使われているかなどを確かめ合う。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生までに学んだ漢字を正しく使って, 文を作っている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 作った文を読み返して間違いを直し, 文を整えている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された漢字を使い, 今までの学習を生かして, 文を作ろうとしている。
	<p>考えたものを文章に書こう こんなアイデア, どうか 10時間(書⑩) 教科書: 4下pp.88~91</p> <p>◇自分が考えたアイデアが分かりやすく伝わるように, 文章構成や論の進め方を考えて, 文章を書くことができる。〈知技:(1)カ, キ, B:(1)ア, ㊦, ㊧〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習課題と進め方を確かめる。 2 身の回りのものから問題点などを出し, 誰もがくらしやすい社会になるためのアイデアを出し合う。 3 出し合ったアイデアから追求したいことを選び, 観点を整理して表にまとめる。 4 表をもとに, 文章の組み立てや論の進め方を考え, 文章を書く。 5 書いた文章を推敲する。 6 友達と読み合い, 考えと事例とのつながり方など, 感想を伝え合う。 7 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落の役割や, 指示・接続する語句の役割を理解し, 適切な言葉遣いで書いている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 身の回りから経験したことや改良したいものを見つけ, 考え出した材料を, 観点に分けて整理している。 ・「書くこと」において, 内容のまとまりを意識して, 文章の構成や展開を考え, 文章を書いている。 ・「書くこと」において, 書いた文章を読み合い, 考えたアイデアが明確になっているかなど, 感想を伝え合っている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のアイデアが読み手に伝わるように, 進んで文章構成や論の進め方を考えている。
2月 (22)	<p>言葉のきまり1 形が変わる言葉 2時間(知技②) 教科書: 4下pp.92~93</p> <p>◇動きや様子を表す言葉が, 文の形によって形を変えることを理解し, 適切に送り仮名を付けることができる。〈知技:(1)ウ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 例文をもとに, 動きを表す言葉の変化を確かめ, 教科書の課題に取り組む。 2 例文をもとに, 様子を表す言葉の変化を確かめ, 教科書の課題に取り組む。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方に注意して, 文の中で使っている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで送り仮名の付け方を理解し, 今までの学習を生かして, 文の形を考えようとしている。
	<p>言葉のいずみ2 類義語 2時間(知技②) 教科書: 4下pp.94~95</p> <p>◇類義語の意味や場面の違いによる使い分けを理解し, 文の中で使い分けができる。〈知技:(1)㊦〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 類義語の定義と注意点について理解する。 2 例示された言葉を使って文を作り, 適切な使い方について考える。 3 課題②に取り組み, 良いと思われる表現について考える。 4 適切な表現かどうかを考えて話し合い, 辞書で確かめる。 5 例示されたもの以外の類義語を集め, 考えた類義語と文例について話し合う。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きや様子, 物の名前を表す語句のまとまりを理解し, それぞれの似た意味をもつものを, 場面に応じて使い分けている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで類義語の意味や, 場面の違いによる使い分けを理解し, 今までの学習を生かして, 文の中で適切に使おうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	<p>想像を広げよう これであなかも作家になれる 10時間(書⑩) 教科書: 4下pp.96~101</p> <p>◇四こままんがをもとに, 全体のすじを考えながら物語を作り, 書いた物語の良いところを伝え合うことができる。〈知技: (1)ア, B: (1)イ, オ, (2)ウ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 四こままんがをもとに, 物語を作るという課題をつかむ。 2 p.96の四こままんがのすじを考えて, 並べ替える。 3 一こまごとの様子を, 起承転結の展開に沿って短い文で表し, お話の題名を付ける。 4 p.98の四こままんがの終末を想像し, お話全体のすじや題名を考える。 5 p.99の四こままんがの「終わり」に入る吹き出しの言葉を出し合い, お話全体のすじや題名を考える。 6 p.100の四こままんがから, 行動や会話など想像したことを出し合い, ノートに書く。 7 四こままんがに合うように, 人物が思ったことや会話文などを入れながら, 展開を考えて物語を書く。 8 友達と読み合い, 良いところや感想を伝え合う。 9 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四こままんがをもとに, 人物の言動について想像したことを, 言葉で表せることに気付いている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 起承転結の構成を考えながら, 話のすじや展開を工夫して書いている。 ・「書くこと」において, 作った物語をもとに, 感想を伝え合い, 自分の文章の良いところを見つけている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四こままんがをもとに, 進んで話の展開を考え, 物語を書こうとしている。
3月 (13)	<p>6 表現に着目して読もう 世界でいちばんやかましい音 6時間(読⑥) 教科書: 4下pp.102~119</p> <p>◇設定やあらすじ, 表現の工夫などに着目して問いを作り, 叙述をもとに互いの読みを交流しながら, 読み深めることができる。〈知技: (1)オ, ク, C: (1)イ, オ, 九, (2)イ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 題名読みをして, 結末について予想する。 2 全文を読み, めあてを確かめる。 3 初発の感想を交流する。 4 音読を通して物語のすじや人物の変容を捉え, 全体を四つの場面に分ける。 5 語り手の語り方に着目し, 表現の効果について考える。 6 物語のおもしろさについて, 内容や表現に着目して出し合い, 問いをつくる。 7 叙述をもとに, 問いに対する答えを交流する。 8 読み取った中心人物の人物像や, 周辺人物の様子をもとに, 自分の考えを伝え合う。 9 学習の振り返りをする。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様子や気持ち, 性格を表す語句をつかんでいる。 ・音読を通して, 全体のすじをつかんだり, 擬音語の効果に気付いたりしている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において, 叙述をもとに, 人物の行動や気持ち, 性格を捉えている。 ・「読むこと」において, 問いを作り, 表現の工夫や展開のおもしろさなどから感想をもち, それらを交流することで, 互いの読みの違いに気付いている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問いを作り, 表現の工夫に着目しながら, 互いの読みを交流することの良さを知り, 意欲的に読もうとしている。
	<p>みんなに伝えよう 感謝の気持ちを話そう 2時間(話聞②) 教科書: 4下pp.120~121</p> <p>◇身の回りの人との関わりの中から話題を決め, 自分の思いが聞き手に伝わるよう, 表現を工夫して話すとともに, 自分と比べながら聞き, 思いを深めることができる。〈知技: (1)イ, キ, A: (1)エ, ウ, エ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 モデル文を読み, 感謝の気持ちをもとにスピーチするという課題をつかむ。 2 話す事柄を決め, スピーチの組み立て(対象となる人, 出来事や理由, 自分の思い)を考える。 3 話す場面を意識して, 抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫して話す。 4 友達のスピーチをもとに感想を伝え合い, 自分の思いを深める。 5 学習の振り返りをする。 <p>※ 二分の一人式を行う場合は, スピーチ内容を手紙形式にまとめる。</p>	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なところを強調したり, 間の取り方に注意したりして, 適切な言葉遣いで話している。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において, 自分の思いを強く伝えるために, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方など表現を工夫して話している。 ・「話すこと・聞くこと」において, 話し手が伝えたいことを, 自分の思いと比べながら聞き, 自分の思いを深めている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す場面を意識して, 聞き手に伝わるよう, 工夫して話そうとしている。
	<p>漢字の広場2 1時間(知技①) 教科書: 4下p.122</p> <p>◇4年生に配当されている漢字を読み書きし, 文中の使い方を理解することができる。〈知技: (1)エ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 傍線の言葉に注意して, 教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確かめ, 書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生に配当されている漢字を読み書きし, 文の中で使っている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで4年生に配当されている漢字を読み, 今までの学習を生かして, 文の中で使おうとしている。
	<p>言葉をつないで文を作ろう3 1時間(書①) 教科書: 4下p.123</p> <p>◇3年生までに配当されている漢字を使った文を書き, 読み返して文を整えることができる。〈知技: (1)エ, B: (1)エ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書の絵を見て様子を想像し, 説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い, 課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い, 主述の関係や表記の仕方, 漢字などが正しく使われているかなどを確かめ合う。 	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生までに学んだ漢字を正しく使って, 文を作っている。 <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 作った文を読み返して間違いを直し, 文を整えている。 <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された漢字を使い, 今までの学習を生かして, 文を作ろうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	<p>これからのあなたへ ぼくが ここに 1時間(読①) 教科書:4下pp.124~125</p> <p>◇情景や作者の思いを想像しながら読み, 自分の体験と結び付けたり, 自身を対象化したりして, 感想をもつことができる。〈知技:(1)ア, C:(1)オ, ㏍〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「ぼくがここに」の情景を想像し, 対比表現や倒置法などの表現の工夫を楽しみながら音読する。 詩から受け取った作者の思いを想像し, 感想を交流する。 学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・作者の思いや自分の考えを表す言葉の働きに気付いている。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において, 読んで感じたことや考えたことを伝え合い, 互いの考えを深めている。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・作者の思いを想像することで, 自分の存在価値に気づき, これからの生き方に意欲をもとうとしている。
	<p>四年生をふり返って 2時間(書②) 教科書:4下pp.126~128</p> <p>◇一年間の国語学習を振り返り, ためになったことやこれからも続けたいことを考えて書くことができる。〈知技:(1)キ, B:(1)イ, オ〉</p>	<ol style="list-style-type: none"> 一年間の国語学習を振り返り, 頑張ったことやこれからも続けたいことを友達と話し合う。 書くことをメモに書き出し, 簡単な構成を考える。 一年間を振り返る文章を書く。 友達と読み合い, 感想を伝え合う。 学習を振り返り, これからの学習について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・改行の仕方や句読点の適切な打ち方を理解している。 ・常体との違いに注意して, 敬体で書いている。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 一年間の国語学習を振り返り, ためになったことやこれからも続けたいことを明確にして, 簡単な構成を考えて書いている。 ・「書くこと」において, 互いの文章の良いところを伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・一年間で学んだことを, 進んで文章にまとめようとしている。